

2024/04/09

Meito 3年進路だより

No.01

名古屋市立名東高等学校進路部

いよいよ名東高校での最終学年がスタートしました。
3年学年団の先生方とともに、われわれ進路部も夢に向かって
歩み続けるみなさんの背中を押していきたいと思います。
よろしくお願いします。



受験生になれていますか？

高校3年生は、とかく「受験生」と呼び替えられます。しかし、ただ受験を控えているだけの「受験生」と、受験に備えて努力を重ねる生活を送っている「受験生」とでは大きな隔たりがあると思います。高校生活最終学年のスタートを、みなさんは名実そろった「受験生」として迎えることができているでしょうか？

しかし、みなさんは「受験生」である以前に「高校3年生」であることも忘れてはいけません。良き「受験生」であるためには良き「高校3年生」であることが必要であり、期待すべき受験の結果は高校生活を全うすることから始まります。具体的に言えば、**受験勉強を言い訳にして学校や家庭での日常生活を乱さない**ことです。塾・予備校や市販の参考書・問題集に振り回されなくて、**学校の授業を中心にした受験勉強を確立**することです。

学校の授業とテストを大切に

受験当日までにみなさんが最も多くの時間を費やす学習時間は、間違いなく学校での「授業」です。この55分×6＝5時間30分の**授業に集中することこそ、いちばん大切な受験対策**となるのです。

3年生の前半に取り組みべきことは、基礎・基本の徹底です。特に、3年生になって初めて習う内容は、再度改めて学習し直す時間はありません。授業の中でできる限り習得できるように努めてください。また、受験演習的な内容の授業も増えてきますが、授業で扱った教材をしっかりやり込んで実力をつけた先輩たちも少なくありません。こうした日々の小さな努力の積み重ねが、1年後に大きく花開きます。

そうした学習の定着度合いを測るテストが定期考査です。これまで以上にしっかりと取り組んでください。大学入試はこうした延長線上にあるのです。

安易に科目を絞らない

受験勉強の初期は、やればやるほど自分の至らないところが見えてきて苦しいです。時間がいくらあっても足りないのではないかとも思えてきます。苦手な科目を避けて、科目数を減らしたくなるのも理解できなくもありません。しかし、ここで負けてはいけません。

科目を早くに絞った方が、その教科を仕上げやすいと考えがちですが、なかなかそうはならないようです。また、科目数を少なくすると、その中で勝負するのは実は大変です。多数の科目を準備しておけば、受験校の選択肢も増えるのでメリットも大きいです。科目数を減らすことはいつでもできますが、一度絞った科目を再度増やすのには相当なエネルギーが必要となり現実的ではありません。

目標校はひとつ上を目指して

今春の入試結果を大局的に眺めると、高卒年代においても少子化の影響が一層進んでいることがうかがえます。中堅以下の私立大学には定員を充足できていないところも少なくないよう

です。一方、国公立大学や私立大学の上位校は定員をあまり減らしておらず、以前よりも合格しやすくなっているように思えます。

目標校を自分の今の実力よりもひとつ上において臨むことは、よりよい進路実現につながると思われます。

最後まで第一志望をあきらめない！

後日、今春の卒業生たちが綴った『合格体験記』を配布しますが、口をそろえて最後まであきらめないことの大切さを語っています。実際、今年も多くの人たちが、3月入試で合格を勝ち取りました。国公立大学の合格者は現浪合わせて121名でしたが、そのうち26名が中期・後期での合格でした。最後まで粘ることで報われたということになります。また、共通テストで合格ラインに届かなかった人でも、二次試験で挽回して見事合格した人もたくさんいます。最後まで第一志望にこだわって受験勉強を続けていきましょう！

仲間を大切に……、そして、最後の名東時間を堪能しよう！

『合格体験記』を見ると、「学校で友達と会っておしゃべりすると元気になるし、元気が出るし、気分転換になります」とか、「自分と同じように努力している仲間を見て、自然と勇気づけられていました」と書かれています。やはり最後に頼れるのは、名東高校で3年間を共に過ごしてきた仲間です。

「現役生の受験は団体戦だ！」と言われます。もちろん試験は1人ずつが受けるのですが、同じ学び舎に集まった仲間が励まし合い、お互いに自分の目標に向かって努力をすることによって相乗効果が生まれるのです。切磋琢磨をしてください。また、部活動や文化祭などの生徒会行事に熱い情熱を注いだ集団ほど、そのエネルギーを変換して、受験にも大きな力を発揮する傾向もあります。ラストイヤーの名東時間を大切にしてほしいと思います。

◇◇◇ 2024年度入試(国公立大)の結果 ◇◇◇

3月に卒業した名東生の受験結果の集計も終わりました。以下におもな国公立大学の結果をお伝えします(推薦入試での合格者も含む)。国公立大の合格者は121名でした。なお、カッコ内の数字は浪人生の数です。

名古屋大 12名(1)

文学部2 法学部3 経済学部2 工学部5(1)

名古屋工業大 14名(1) 愛知教育大 9名(1)

名古屋市立大 20名(1)

人文社会学部8 経済学部8(1) 総合生命理学部1
芸術工学部1 薬学部2(1) データサイエンス学部1

愛知県立大 16名

外国語学部7 日本文化学部3 教育福祉学部1
看護学部4 情報科学部1

岐阜大 7名(2)

岐阜薬科大 1名

静岡大 11名(1) 三重大 2名

横浜国立大 1名

東京都立大 3名

金沢大 1名

信州大 3名(1) 医学部医学科 1(1)

大阪公立大 1名

神戸大 1名

神戸市外国語大 2名

岡山大 1名

広島大 1名

愛媛大 1名

長崎大 1名(1)

東京芸術大 1名(1) 愛知県立芸術大 1名

など



◇◇◇ 模試に対する心掛け ◇◇◇

① 共通テスト模試と記述模試、特定大学模試はセットで受験しよう

記述模試は、国公立大二次試験、私立大入試で要求される記述・論述力を試す模試です。共通テスト模試とのドッキング総合評価で、実際の入試同様に「共通テスト+二次試験」の総合評価もされます。共通テスト模試とセットで受験をしてください。

また、夏以降は「名大オープン」などの特定大学模試も行われます。そうした大学を志望する場合は、こちらも積極的に受験してください。

<スケジュール&ドッキング総合判定> 自校:名東高校にて 公開:公開会場 IC:IC プレーヤー使用

模試	共テ ①	記述 ①	共テ ②	オープン	記述 ②	早慶 レベル	記述 ③	共テ ③	オープン	プレ	リサーチ
会場	自宅	公開	自校	公開	自校	公開	公開	公開 IC	公開	自校	
ドッキング 判定	●——●		●——●		●		●——●		●——●		●

② 申し込み・受験料の払い込みなど手続きをきっちりやろう

模試の申し込みは、進路室前のポストに各自で申し込み用紙を入れることで行います。申し込み締め切り日は教室掲示の案内に示されます。予備校での締め切り日とは異なりますので注意してください。その後、受験料の払い込み用紙が送られてきますので、遅れないように入金してください。

いずれも締め切り日直前に行動するのではなく、すぐにやる習慣をつけてください。こうした手続きは、実際の入試の出願や入学手続きにも通じます。保護者に頼るのではなく、自分できっちりこなすようにしてください。（締め切り遅れは多くの人に迷惑をかけるだけでなく、最悪の事態を招きかねません。）

③ 入試本番を意識して受験しよう

コロナ禍以降、模試会場の確保が難しい状況が続いています。**第1回全統共通テスト模試は自宅受験で、記述模試は外部会場(会場は後日)での実施**となります。ちなみに、第2回全統共通テスト模試、記述模試、および全統プレ共通テストは本校での実施、第3回全統共通テスト模試、記述模試は外部会場での実施の予定です。

第1回全統共通テスト模試は自宅受験になりますが、不正行為厳禁であることは言うまでもありませんが、時間をきっちり測り、入試本番を意識して時間配分などをシミュレーションしてください。

入試では、定められた試験時間の中で与えられた問題を解くことが求められます。所定の試験時間内で問題が解けなければ、意味がありません。共通テストでは、グラフ・地図・写真・文章などの読み取る資料の量がたいへん多くなっています。限られた時間の中で複数の資料から必要な情報を迅速に整理・考察し解答する力が求められているのです。ですから、どう時間を配分するかは練習が重要なのです。勝手に「延長戦」に突入してはいけません。

逆に、早く終わったからと言って、他の科目の問題に移るのもよくありません。試験時間いっぱい粘る、最後の1分まであきらめない、そうした練習も大切です。

④ 自己採点できるように、自分がマークした番号にチェックを入れよう

実際の共通テストでは、問題冊子に記録した自分の解答をもとに自己採点を行い、その結果で出願する志望校を決めます。マークシートの記入ミスや問題冊子への転記漏れがあると、自己採点の結果と実際の得点とに差ができてしまいます。こうなると、適切に志望校に出願することができなくなってしまいます。自己採点と実際の得点とズレが生じないよう毎回の模試で練習しておきましょう。

可能であれば、復習の時のために、次のことをやるのも、おススメです。もし自信を持って④を選んだら、④に◎をつける。正答が④であれば、解説はチラッと読めばいい。もし③と④で悩んで（こういうことはよくあります）④を選んだら、④に○、③に△をつける。正答が④であっても、なぜ④に自信を持てなかったのか、なぜ③を排除できなかったのか、そこを解答・解説を読むことによって正確な知識をインプットしよう。解答・解説を活かしてこそ、模試の意味があります。

⑤ その日のうちに自己採点・復習をしよう

上で書いたように、問題を解き終わったら、その日のうちに自己採点をしよう。

また、河合塾の全統模試では、「**模試ナビ**」を無料で利用することができます（通信料の負担は必要）。「模試ナビ」では、スマートフォンやタブレット・パソコンを活用し、全統模試の「目標設定」「自己採点」「復習」「成績確認」をウェブ上で行うことができます。特に、模試終了後、河合塾講師による解説講義動画を視聴することができる点は、みなさんにとって大きなメリットでしょう。解説動画も、1問あたり5～10分程度の短尺動画となっており、登下校のバスや電車のなかでも復習することができます。復習を繰り返し行うことで実力がついてきます。

⑥ 受験届には、志望校をたくさん書こう

全統模試では、受験届に国公立大は最大第5志望まで、私立大と併せて最大第9志望まで書けるようになっていきます。せっかくなら、すべての欄を埋めて、今後の検討材料にしよう。

国公立大志望の場合は、前期・後期2校ずつは書いておこう。私立大学は、同じ大学・同じ学部であっても、一般・共通テスト利用・共通テスト併用（「共通テスト利用」と「共通テスト併用」の違いは分かっていますか？）で結果が変わってきます。本気でその私大を目指すのであるならば、すべての方式を書いてみよう。

また、記述模試では、二次試験が小論文や実技のみの国公立大学や、私立大の共通テスト利用を書いても、判定は共通テスト模試を使用するだけなので、意味がありません。注意しよう。

⑦ 偏差値や判定に一喜一憂しないようにしよう

一般的に、5月の模試は2月の模試に比べて偏差値も判定も悪くなると言われます。5月の模試では浪人生も受験するためであり、がっかりする必要はありません。ましてや、志望校を下げる必要もありません。粘り強く勉強し続け、11月の模試でC判定が出ることを目標にしましょう。成績表が返却されたときに、C判定まであと何点取ればよいのか、どの問題が解けたらよいのかに着目し、学習の目標にしてください。

逆に5月の模試で良い判定が出た人は、志望校をもう1～2ランク引き上げててもよいかもしれません。下に、卒業生の声を紹介します。

先輩からのメッセージ～『合格体験記2024』より～

■数学は最後まで苦手で、過去問を解いても平均2～3割程度しか取れていませんでしたが、本番は6割程取れて合格することができました。問題との相性もあると思います。が、最後まで諦めなければ成績が伸び続けるということでもあると思います。

（名古屋大学工学部に合格した生徒）